

vol. 8

資源循環センター リサイクルの森

運営ニュース

令和3年12月号



ごみ処理最前線、施設と働く人たち

リサイクルの森 管理棟

資源循環型社会の推進に向けて、ごみ処理の流れを知り、ごみ減量や3R(スリーアール)を学ぶ地域の大重要な環境拠点。コンシェルジュがご案内します。



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和3年9月	2,190.40	1,224.21	3,414.61	1,700.52
令和3年10月	2,202.04	2,316.82	4,518.86	2,100.36
令和3年11月	1,363.05	1,442.16	2,805.21	1,276.69

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m³N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉排ガス	令和3年10月8日	令和3年10月19日	<0.001	20	7	8
2号炉排ガス	令和3年10月8日	令和3年10月19日	<0.001	24	<4	8

ご来場の際は、マスク着用・検温へのご協力をお願いいたします。

イベントなどのお知らせ

モノ・コトショップ

ご家庭で不用になったけれど、まだまだきれいで活躍しそうなモノをお持ちいただき、必要な方に譲る不用品交換のお店を開催しています。
※詳細、開催日はホームページをご確認ください。

貝合わせ～絵付け体験

開催日時 令和4年1月29日(土)

- ①午前の部 10:00～12:00
- ②午後の部 13:00～15:00

予約受付 令和4年1月10日(月)9:00～1月28日(金) 16:00

募集人数 ①②共に5グループ(最大25名程度)

- ※小学生以下は保護者同伴
- 定員になり次第締め切りとさせていただきますのでお早めに申込みください。
- (株)くわなEサービス0594-87-5133まで。

同時開催 モノ・コトショップ 10:00～15:00

施設見学ツアー

月曜日から金曜日の9:30～16:00
1回90分程度で見学コースを周ります。
お1人から見学できますので電話でお気軽にお問合せください。



資源循環センター リサイクルの森 運営ニュース vol. 8 令和3年12月号

発行:(株)くわなEサービス

お問い合わせ先:(株)くわなEサービス 0594-87-5133

ホームページ:https://www.kwes-ebara.com

※(株)くわなEサービスは、リサイクルの森運営会社です。



リサイクルの森の各施設での仕事と、そこで働く人たちに聞く。
今回はごみ処理の流れを見学したり、3Rに関連するイベントを開催したりすることで地域の皆様とともにごみ減量について考える。



リサイクルの森 管理棟

～管理棟のご紹介～

1 1階 桑名広域清掃事業組合事務局



リサイクルの森の運営を管理する桑名広域清掃事業組合事務局事務所です。この地域のごみが適かつ安全に処理されているかを管理、監督しています。

2 1階 デジタルサイネージ



イベント案内やエコな体験プログラム案内を表示しています。
参加の応募はお早めにお願いします。

3 1階 玄関ホール



年2回パネル展を開催し、ごみ処理や分別に関する情報を発信します。ご来場の際は、ぜひお立ち寄りください。



4 2階 デジタルサイネージ



2階のデジタルサイネージでは、イベント案内だけでなく、桑名市、木曽岬町、東員町の紹介動画や、可燃ごみ焼却施設の運転状況を見るすることができます。

7 3階 大会議室



見学ツアーのスタート地点。ガイダンス映像を見ていただき、ごみ処理の流れや3R(スリーアール)について学ぶことができます。

6 2階 工房・学習室



地域の皆様に気軽に「リサイクルの森」に来ていただけるよう、年6回のエコな体験プログラムと夏休みイベントを開催しています。今年度は10月末時点で体験プログラム、夏休みイベントに約150名の方に参加いただいている。

5 2階 モノ・コトショップ



使わなくなったけど、まだまだきれいで活躍できるモノを必要な人にお渡しする、お金のかからない不用品交換のお店です。今年度は10月末時点で約500人の方にご利用いただいている。

見学やイベントで皆様をご案内する
3人のコンシェルジュ^(*)に聞きました



※コンシェルジュ(concierge)
アパートの管理人を指し、ホテルにおいては客の要望に応えたり、代行・案内する人

Q1 コンシェルジュの業務内容を教えてください。

見学ツアーの申込受付からご案内、モノ・コトショップの開催、体験プログラム、イベントの企画、準備、開催など、地域の皆さんにごみのこと、環境のことを考えていただくためのお手伝いをしています。

Q3 モノ・コトショップや体験プログラムの情報はどこで見ることができますか。

リサイクルの森ホームページ、公式Facebook、ケーブルテレビ、構成市町の各広報紙で情報発信を行っています。公式Facebookでは、体験プログラムの開催報告も載せていますので、ぜひ見てください！

Q4 皆さんにご紹介したい本があると伺いました。

ごみのこと、環境のことについて考えるきっかけとなる本はたくさんありますが、その中で作家・星新一さんの1958年作品「おーいでこーい」(新潮文庫『ボッコちゃん』所収)を紹介させてください。

『ある村のはずれに突然現れた大きな穴。その穴に向かって、「おーいでこーい」と叫ぶも何の反応もなし。石ころを投げても反応はなし。かなり深い穴と考え、人々はこれ幸いに大量のごみや機密書類・身元の分からぬ死体・産業廃棄物・放射性廃棄物までもその穴に投げ込みます…』
人間にとって都合の悪いモノを好き放題その穴に放り込んだ果てに、いったいどうなったでしょうか。ぜひ、作品を読んでみてください。

Q2 お仕事をしていて工夫していることはありますか?

体験プログラムではエコな廃材工作を体験していただきます。私たちが見本を作り展示したり、プログラム終了後には、見学通路内で展示もします。見学ツアーでは、皆さまが安全にご見学していただけるよう注意し、声掛けをおこないます。



Q5 皆さんにメッセージをお願いします。

見学ツアーや体験プログラムにご参加いただき、環境への負荷をできる限り低減することへの理解を深めていただきたいと思っています。
皆さまのご来場をお待ちしております。